

那須塩原市 議会だより

第67号

平成29年2月20日発行

栃木県那須塩原市
議会だより編集委員会



市役所見学 東原小学校 未来の議員さんたち!?

～今号の見どころ～

議会報告会&意見交換会

P2～P3

6会場で94名の参加 (前回は上回る!!)

第8回議会報告会(11月開催)の概要

- ①各班(3班体制)が同日に3会場に分かれて2日間続けて開催(計6会場)
- ②共通テーマ並びに地域(班)テーマに関して各班それぞれの手法で進行をした

共通テーマ “自治会の未来を考える”

1. 現状や課題に関するもの

- 自治会は小学と中学が別になるため、接点が切れてしまう
- アパートに住んでいる方がなかなか入会してくれない
- 入りたくない理由は、高齢化も原因
- PTAがあり、育成会も自治会も一緒にあって忙しい
- 特にひとり親や単身赴任の世帯は大変である

2. 加入によるメリットに関するもの

- いろいろな人と顔見知りになり意見交換ができる
- 伝統芸能の行事が沢山あり絆が深まる
- 人と顔見知りになることで地域の安全とか防犯上はとても良い
- 自治会に加入すると、地域の人の温かみを感じる
- 地域見守り隊や協力隊を作り、皆で支えあうシステムができる

3. 提案や取り組みに関するもの

- 自治会加入の利点を明確にすれば加入率が上がるのではないかと
- 未加入世帯でも街灯費や消防費を徴収し、アパート・マンションは不動産業者と契約をして徴収している
- 老人会と生きがいサロンを一本化することも大事ではないかと



活発な意見で盛り上がる! (一部を抜粋して掲載致します)

それぞれの会場で出された意見、要望

“箒根地区を元気にしよう”ハロープラザ 参加者10名

- 有数の水田地帯の米と塩原温泉の良質な泉質をアピールしてはどうか
- もみじ谷大吊橋へのアクセスとして金沢側からの道路を整備して、交通渋滞を解消してはどうか

“東那須野地区発展について考えよう”東那須野公民館 参加者17名

- 専門学校、大学がないので、若者を呼べるものが無い
- 那須塩原駅前の整備や開発が優先課題ではないか

“地域住民たすけ合い事業”について 大山公民館 参加者16名

- 元気な高齢者に支えてもらって進めたらよいと思う

“地域住民たすけ合い事業”について とうら公民館 参加者9名

- 県の「くらしの安心サポーター」は、同世代の同じ目線の予防ボランティアなので話を聞いてくれる
- 民生委員しか知らない情報もある
- 普段から付き合いがないと限界がある
- 皆で考えていこうという呼びかけと自覚が必要

“黒磯地区のこれからを考えよう”黒磯公民館 参加者20名

- 子どもは地域の人と交流をして育て、社会人としてふさわしい人となる子育てをする。その為に地域で子どもの出る機会を多くする。
- 地域の色々な特技の持ち主のリストがあれば交流しやすい。(シルバー大学の卒業生の活用)

“西那須野地区のこれからを考えよう”西公民館 参加者22名

- 人を増やす施策(若い人が帰ってくる施策)、まちづくりを実施してほしい(子育て環境整備等、企業、結婚)
- 自治会でいきいき百歳体操などということで、見守り健康づくりをおこなっている。

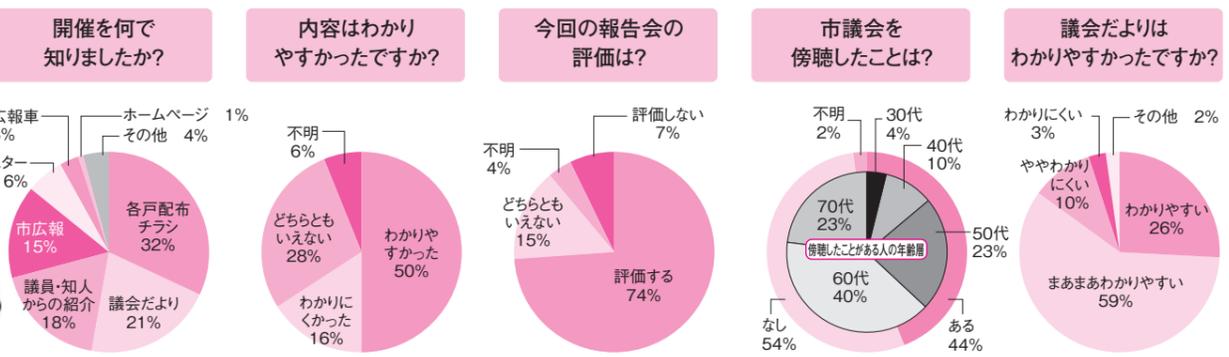


その他の意見・要望(全会場、一部抜粋)

- 国道4号や駅から離れた地域の人たちに手厚い保護はないか。
- 那須塩原市立地適正化計画(素案)で住宅街から離れた地域も見捨てないで欲しい。
- 緊急でAEDを使うにも、一般市民はどこにあるかわからない。
- 市には城跡が8か所あり、黒磯地区に1か所、塩原地区に7か所あるので、その資源を活用して欲しい。

参加者アンケート結果

- 「各戸配布チラシで知った」という回答が前回よりも増加
- 内容のわかりやすさについては約半分の回答者から「わかりやすかった」との評価を得たが、「どちらともいえない」の回答が増えたため今後の改善点とする
- 「報告会を評価する」という回答は前回とほぼ同じ割合であった
- 資料として使う議会だよりは、「わかりやすい」並びに「まあまあわかりやすい」を合わせて85%の評価を得た
- アンケート回収率が76%に大幅増



☆議会報告会での質疑・回答並びに意見・要望 (一部抜粋)

質疑

Q. 通年議会制度の導入というのがあるが具体的なメリットを教えてください(議会活性化)

A. 現在は年4回の定例会を市長がその都度招集して開催しているが、それを一年間通じて1回の召集で議長の判断により議会を再開するもので、毎日議会を開くわけではなく、審議がある時に開く(現段階では導入しない)

Q. 通年議会にすると、現在より費用がかかるのか

A. 現在より若干費用は増える

意見・要望

- 結果報告だけでなく、審議の過程を報告して欲しい(定例会)
- 放射能対策検討特別委員会の報告がなかったが、今後も継続的にテーマを見つけて取り組んでほしい(特別委員会報告)

☆アンケート自由記述による意見・要望 (一部抜粋)

- 中学生も企画運営に入れたらどうか
- 予想以上に報告会が良かった(知られていないのでは)
- 「議会報告会」の名称が良くないかも

12月定例会 議案審議

各委員会で審議した主な議案並びに所管事務調査

予算常任委員会

■平成28年度一般会計補正予算（第6号）について

【歳入歳出の補正】

歳入歳出それぞれ17億2,141万1,000円を追加し、総額を501億623万9,000円とする。

■主な歳入（新たに収入となるもの）

国庫支出金	7億4,142万7,000円
県支出金	3億4,223万7,000円
寄附金	1億円
市債	5億1,590万円

■主な歳出（新たに支出されるもの）

ふるさと基金原資積立金	1億円
臨時福祉給付金	3億6,110万6,000円
民間保育施設運営	1億4,859万9,000円
畜産競争力強化対策	2億 359万3,000円
小学校エアコン整備	3億5,963万4,000円
狩野公民館整備	9,935万円

平成28年第5回那須塩原市議会定例会（11月25日～12月16日）

市長からは人事案件2件、平成28年度補正予算案件13件、条例の制定及び一部改正案件13件、報告案件2件、その他の案件4件の合計34件が提出されました。

予算常任委員会全体会での質疑・討論

【小学校エアコン整備について】

◎分科会において、冷房専用機種や設置工事完了時期の他に費用や経費、財源などの質疑・意見は無かったか。

▲福祉教育常任委員長 質疑があり、執行部からは「エアコンは業務用を予定、受電設備や電気設備を新設か更新が必要、1,000万円から2,000万円掛かる。財源の補助金は基礎額の3分の1である。」との答弁があった。

■討論【小学校エアコン整備】

事業の金額が大きく、学校運営に大きな影響が続く。補正予算ではなく当初予算に計上すべきで反対する。

■採決で「可決すべきもの」と決した。

総務企画常任委員会

■公の施設の指定管理者の指定について

〈議案の概要〉公の施設について、指定管理者を指定することについて議会の議決を求めるもの。

【質疑】「湯っ歩の里」の指定管理の選定基準で住民サービスの配点に対し採点に差が出ているのはどのような理由だったのか。また、応募が1社ということで選定をしているが、この業者に対して要望は行うのか。

【答弁】応募業者の自主事業計画が誘客に効果的な提案としては弱いものと思われたので点数が下がった。また、選定の段階では提案のあった自主事業計画は希薄な部分があったが、能力はあるものと判断した。指定管理者として決定となれば、業者と基本協定を結ぶことになる。その中で施設の利用者の増加を図っていくよう協定を結びたい。

【質疑】施設の修繕に関して、指定管理者が対応する部分と市が対応する部分の金額的な基準はあるのか。

【答弁】今回募集した施設に関しては、30万円を基準として協議していきたいと考えている。

建設経済常任委員会

■那須塩原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

〈議案の概要〉法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

【質疑】人件費、事務運営費等はどうなるのか。また委員の兼任はできるのか。

【答弁】農業委員で18名減り、推進委員で44名増えるので、ある程度の費用負担にはなるのではないかと。両方に応募はできるが任命はどちらかにしかできないという規定になっている。

■所管事務調査について

12月12日に、以下の5つの施設等について現地調査を行った。

- ①現在施工中である下塩原第二トンネル
- ②塩原堆肥センター
- ③現在施工中である市道新南下中野線（3カ所の地点を視察）
- ④高齢者対応改修をおこなった市営団地の実際の居室（市営錦団地において、施工前と施工後の2室を比較する形で視察）
- ⑤那須塩原市消費生活センター

福祉教育常任委員会

■公の施設の指定管理者の指定について

〈議案の概要〉公の施設について、指定管理者を指定することについて議会の議決を求めるもの。

【質疑】指定管理者の選定基準について、図書館の指定管理者選定のみ配点異なるが、理由を伺う。

【答弁】図書館の利用者が減少している状況から、施設の利用者を増やす実効的な方策がとられているかについて重点配点した。

【質疑】体育施設等の指定管理において、維持管理に関する業務ができるかどうかについては、選定結果のどの項目に含まれるのか伺う。

【答弁】維持管理ができるかどうかについては最低条件としており、人的な部分として有資格者等も含め、選定基準1の施設管理運営能力に含まれている。

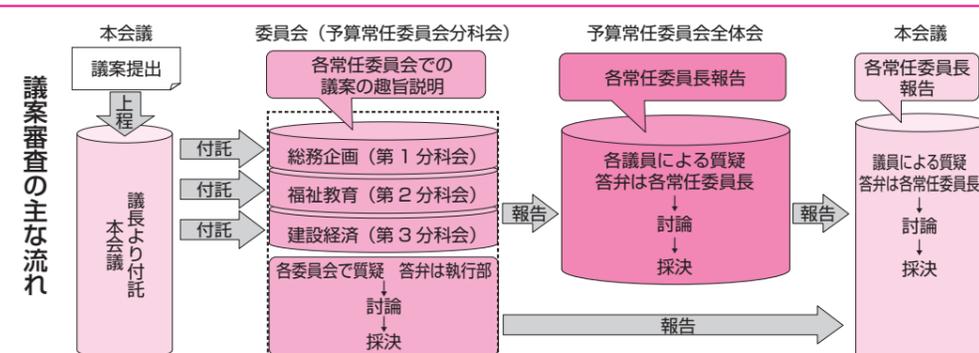


下塩原第二トンネルの視察

市議会って？Q&A～素朴な疑問にお答えします～

～常任委員会編～

Q 議会の審議の流れってどうなっているの？



このような流れになっているんだよ。

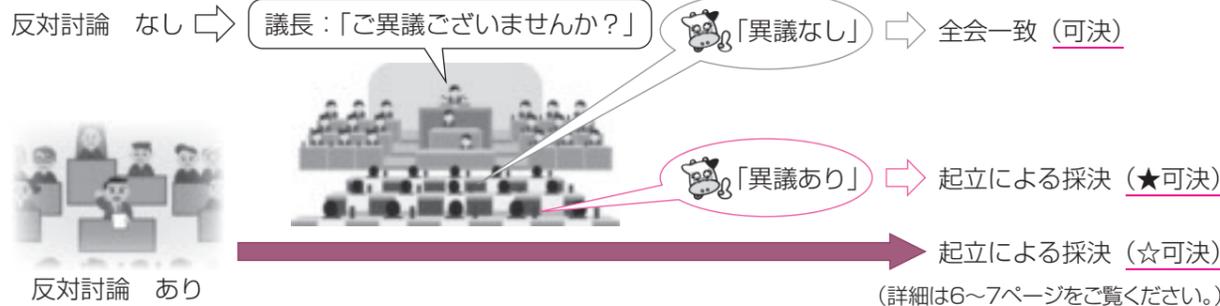
議案の審議結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

【会期：11月25日～12月16日】

議案番号	件名	結果
同意第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について（君島 モト工氏）	同意
同意第6号	那須塩原市副市長の選任について（片桐 計幸氏）	同意
議案第71号	平成28年度那須塩原市一般会計補正予算（第5号）	★可決
議案第72号	平成28年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）	☆可決
議案第73号	平成28年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第74号	平成28年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第75号	平成28年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第76号	平成28年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第77号	平成28年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第78号	平成28年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第79号	平成28年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第80号	平成28年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第81号	平成28年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第82号	平成28年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第83号	平成28年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第84号	那須塩原市教育長の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の制定について	可決
議案第85号	那須塩原市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	可決
議案第86号	那須塩原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	可決
議案第87号	那須塩原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決
議案第88号	那須塩原市監査委員に関する条例の一部改正について	可決
議案第89号	那須塩原市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決
議案第90号	那須塩原市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	可決
議案第91号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	☆可決
議案第92号	那須塩原市税条例等の一部改正について	可決
議案第93号	那須塩原市都市計画税条例の一部改正について	可決
議案第94号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第95号	那須塩原市介護保険条例の一部改正について	可決
議案第96号	那須塩原市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第97号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第98号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第99号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第100号	大田原市から北那須流域関連那須塩原市公共下水道への区域外流入について	可決

「可決」と「☆可決」と「★可決」の違いについて



●会派代表質問に1会派、市政一般質問に12議員

平成28年11月29日から12月5日までの日程で会派代表質問、及び市政一般質問が行われました。それぞれの議員の様々な課題に対する活発な質問内容の一部を要約し掲載いたします。なお、各議員の掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

11月29日

- ① 志絆の会【眞壁 俊郎 議員】…………… 10
 (1)第2次那須塩原市総合計画について (2)水道事業について (3)雇用対策について

11月30日

- ① 佐藤 一則 議員…………… 10
 (1)公共施設等総合管理計画について (2)犯罪や非行の無い安全で安心な地域の実現に向けて
- ② 山本はるひ 議員…………… 11
 (1)市民と行政が協働でまちづくりをしていくことについて (2)放課後児童クラブのあり方について (3)市単独補助金のあり方について
- ③ 藤村由美子 議員…………… 11
 (1)第3次那須塩原市男女共同参画行動計画について (2)まちづくりから考える地域公共交通網について
- ④ 相馬 剛 議員…………… 12
 (1)豪雨災害に備えた水防対策について (2)減少傾向にある使用料の要因と対策について (3)T I 活動（トータルアイデンティティ活動）について

12月2日

- ⑤ 星 宏子 議員…………… 12
 (1)関谷小学校のプール建設について (2)高齢者対策について
- ⑥ 金子 哲也 議員…………… 13
 (1)国際交流及び在留外国人の対応について (2)放課後児童クラブについて (3)要支援児童放課後応援事業について (4)産業文化祭について
- ⑦ 平山 啓子 議員…………… 13
 (1)MTBI（軽度外傷性脳損傷）について (2)市民が快適に利用できる図書館を目指して (3)がん検診の受診率向上について
- ⑧ 鈴木 伸彦 議員…………… 14
 (1)高齢者の移動手段と取り組みについて (2)学校教育の充実について (3)用途地域の見直しについて (4)財政指標、財政方針について

12月5日

- ⑨ 高久 好一 議員…………… 14
 (1)みなし寡婦控除の創設について (2)特殊詐欺対策について (3)災害防止対策について (4)学校給食の地場（県内）産物の活用について (5)安全な部活動のために
- ⑩ 齊藤 誠之 議員…………… 15
 (1)ごみ屋敷への対応について (2)よりよい教育環境の充実を目指して
- ⑪ 若松 東征 議員…………… 15
 (1)一般廃棄物処理施設について (2)出会いから結婚までのサポートについて
- ⑫ 櫻田 貴久 議員…………… 16
 (1)観光行政について (2)シティプロモーションの取り組みについて (3)巻狩まつりについて (4)スポーツ施設整備計画について

INFORMATION

インターネット録画映像配信中!

各議員の質問内容は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。

那須塩原市議会 議会中継 と入力し 検索

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。公式記録は会議録でご確認ください。
 ※録画映像は、会議当日より約1週間経過後からご覧になれます。

【12月定例会インターネット中継アクセス数 のべ 1,426人】

ここが聞きたい!

会派代表質問と市政一般質問



名実ともに県北地域の中心都市へ

第2次那須塩原市総合計画について

眞壁 俊郎 議員

問 第2次那須塩原市総合計画基本構想の趣旨について伺う。

答 市長 第1次総合計画が作成されてから10年が経過し、暮らしの安全安心に対する関心の高まり、本格的な人口減少・少子高齢化社会への対応など、私たちを取り巻く環境が目まぐるしく変わる中で、今後の10年間においても、さらなるステップアップに向け力強く進んでいく決意を、将来像である「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」に込めたところである。

水道事業について

問 水道事業の現状と課題について伺う。

答 市長 水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、人口減少社会の到来に伴う給水収益の減少が予想される一方で、事業創設時から整備してきた水道施設の老朽化による施設の更新や災害に強い水道事業の構築など、多額の費用が見込まれるところである。水道事業が将来にわたって安全で安心な水道水を供給していくためには、中長期的な財政見通しのもと、財源確保に努めるとともに、有収率の向上や適切な料金水準の確保、さらには、現在策定を進めている経営戦略により経営の安定化を図る必要があると考えている。

雇用対策について

問 栃木労働局との那須塩原市雇用対策協定の実施状況について伺う。

答 市長 若者の雇用対策、UIJターンの促進、子育て中の人や障がい者等への就業支援、産業振興と雇用創出・雇用確保の一体的な取り組みを柱とし、高等学校における企業説明会や中学校キャリアガイダンス、企業による小学校への出張授業などの取り組みを進めているところである。



公共施設等の管理に関する

基本的な考え方は?

佐藤 一則 議員

問 公共施設等の状況について伺う。

答 市長 平成26年度末時点で公共施設は310施設、インフラ資産の延長は、道路が146万8,701m、橋梁が4,769m、上水道が137万8,675m、雨水排水が2万8,278m、下水道が45万104mとなっている。

問 財政の課題について伺う。

答 市長 今後40年間の平均年間更新費用は、公共施設が約62億円、インフラ資産が約67億円となる。

問 公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る経費と充当可能な財源の見込みについて伺う。

答 市長 今後30年間で必要経費は約4,187億円であり、充当可能な財源は約2,880億円となり、年平均約43億円の財源不足が生じる見込みとなっている。

問 公共施設等のサービスを持続可能とするための基本的な考え方について伺う。

答 企画部長 保有総量の25%削減と耐用年数を20%延ばし、年間約43億円の財源不足をカバーして、持続可能なサービスを提供したい。

犯罪や非行のない安全で安心な地域の実現に向けた本市の考えは?

問 保護観察対象者のうち、保護司会長が推薦した者を、那須塩原市等の臨時職員として採用することにより、更生保護の一翼を担うことについて伺う。

答 総務部長 実施団体の導入状況等を参考に、採用に当たっての業務内容等を研究したいと考えている。

問 保護観察対象者等の雇用について、協力雇用主の登録をした会員に対して、入札参加資格審査等において優遇措置を付与することについて伺う。

答 総務部長 入札参加資格者の格付で、平成29、30年度の格付方針の策定に当たり、那須保護区協力事業主会及び宇都宮保護観察所に登録された協力雇用主に点数を加算する評価項目を新たに加えることとした。



市民と協働のまちづくり

市民活動支援センター設置を望む

山本 はるひ 議員

問 市長は、どのような方法で市民の声を聞くつもりか、市民活動支援センターの検討や制度設計に取りかかっているのか伺う。

答 市長 市政懇談会やパブリックコメント、さらには私自身が地域の各種事業に出向くことなどを通して、広く市民の皆様の声を聞く機会を設けている。市民活動支援センターは、新庁舎への設置を前提としていたが、建設時期を延期したことから、既存施設の有効活用を含めた市民活動支援センターのあり方について、検討を重ねている。

問 市民団体などが市長と話をしたい時にはどのような方法で行うことができるか。

答 市長 時間の調整ができれば、私の時間の許す限り対応していきたい。

放課後児童クラブ運営の現状と課題

問 児童クラブの運営と設置に関しての問題点と課題、法人でなければ運営できなくなった理由は。

答 子ども未来部長 小学6年生までの受け入れができていないことと、施設数の増加に伴い支援員の確保が課題となる。法人運営は、クラブ運営の安定と保護者の負担軽減を図る必要があるとなったため、平成29年度以降の委託事業者を法人とすることとした。

問 小6の子どもたちの受け入れができる予定はいつか、支援員を確保することが難しいのはなぜか。条件整備は市が率先して行うべきではないか。

答 子ども未来部長 小6の受け入れは平成31年度の整備が予定どおり進むことで可能となる。支援員は勤務時間が短く、生活をしていくのに十分な待遇、給与が設定されていない。支援員の待遇等についても随時詰めていって、熱心に支援員の方々が子どもたちと児童クラブでかかわっていることは承知しているので、その思いも受けながらやっていきたいと考えている。

市単独補助金、5年前の見直し効果は?

問 5年前に補助金審査会から指摘された課題についてはどうなっているか。

答 総務部長 交付年限、見直し時期の設定、類似団体への補助金の整理統合、補助金から他費目への組みかえの検討などについて、十分な対応ができていない。平成29年度から3年間で見直しを考えている。



本気で取り組んでいただきたい!

まちづくりから考える地域公共交通網

藤村 由美子 議員

問 まちづくりの観点から、広域の地域公共交通網形成計画とはどのような計画か。

答 生活環境部長 2市2町の中で生活や観光の拠点を定め、背骨となる基幹路線を決める。次に隣接する市や町とどのように接続していくか決めていく。

問 基幹路線にたどり着くまでの手段は市の公共交通網形成計画で考えるのか。

答 生活環境部長 予約ワゴンバスなどを見直して、基幹路線に接続するフィーダー路線(支線)を市の計画の中で考えていく。

問 これからの公共交通とは何なのか、市民・事業者・行政が一体となって取り組む作業はいつ頃おこなわれるのか。

答 生活環境部長 来年スタートする策定作業の中で、市民の意見を取り入れていく。

問 那須塩原駅前のバスターミナルはどのような設計になるのか。

答 建設部長 県北地域の玄関口としてふさわしい駅前広場を再整備するため、来年基本計画を作る。

第3次那須塩原市男女共同参画行動計画について

問 女性市職員の管理職登用の数値目標値は設定しないのか。

答 総務部長 女性男性で区別せず、能力本位で登用していきたい。

問 男性職員の育児休業取得目標を設定しないのは、担当課として問題ないと判断しているということか。

答 企画部長 大切じゃないという判断ではなく、たまたま今回の目標にならなかったということである。

問 市長が企業訪問する際に、ワークライフバランスを進めるようトップセールスをしてはいかがか。

答 市長 努力義務のある事業主に対し、計画を作るよう要請していきたい。

問 あらゆる年代や性別のDV被害者に対して開かれた相談窓口が必要である。広域として県北地域に配偶者暴力相談支援センターを設置することは可能では。

答 子ども未来部長 当然考えていかなければならないことなので、今後の課題としてとらえている。



豪雨災害に備えた水防対策について

実際の災害に機能する水防対策を求める

相馬 剛 議員

問 水防倉庫の管理及び水防団の現状、豪雨災害やゲリラ豪雨に本市の水防対策は十分に図られているか伺う。

答 市長 市が管理者である水防倉庫は6ヶ所設置、定期的な資機材の点検を行っているが老朽化もあり、今後の整備は集約も視野に消防署や地元消防団等と協議をしたい。本市では水防団は置かず消防団が当たる。改正水防法による水防協力団体の指定は今後進める。降雨量と冠水予想図はないが県が指定した浸水想定区域と水深を表示した防災ハザードマップを作成し全戸配布している。

答 総務部長 水防倉庫の管理は市職員、消防職員が行うことになっているが、ここ数年十分ではない。資機材の備蓄基準も真に必要な機材を検討する。また、ハザードマップは県の定めを活用しており最大規模の雨を想定したもので市内7地区に区分している。小学校エリアであればきめ細かなハザードマップになると考える。国・県の観測地点ではゲリラ豪雨には対応できないので市内に8ヶ所の観測システムを設置している。



<黒磯水防倉庫>

減少傾向の使用料について

問 歳入の使用料は平成19年から27年で約1億2千500万円減少しているが、原因と今後の対応を伺う。

答 総務部長 使用料は公の施設を使用した際の対価で、利用が増えれば財政運営上望ましい。減少の要因は東日本大震災の影響や施設の廃止・老朽化などがある。施設の稼働率向上につながる工夫や取り組みを各施設に実施する必要がある。一方時代のニーズに合わない施設、民間と競合する施設があり、施設そのものの在り方を検討する必要もある。



一日でも早いプールの建設を

関谷小学校のプール建設について

星 宏子 議員

問 昨年9月の定例会で関谷小学校にプールの建設について一般質問し、検討すると答弁があり、さらに12月定例会では、平成29年度に設計していきたいとの答弁があった。今後のプール建設計画について伺う。

答 教育部長 教育委員会の所管する事業も含め総合的に調整をした結果、老朽化した施設の改修工事、児童生徒の安全確保やエアコンの設置、トイレの洋式化など、環境整備を優先し、関谷小学校のプール建設は、1年ほど先送りの方向で庁内調整を行っている。

問 白紙撤回ということのないように、またプール建設に向け、地域住民や保護者を含めて話し合いも進めていっていただきたい。

答 市長 今までの経過等々を踏まえた上で、1年間先送りになった。教育施設、市民プールとして、学校プールの重要性は理解している。少し遅れるが、整備に入っていきたい。

高齢者対策について

問 認知症サポーター上級講座の実施について伺う。

答 保健福祉部長 この講座は、認知症サポーターのステップアップを図り、地域での見守りや傾聴等の具体的な活動をするサポーターの育成を目指すものである。「認知症になっても安心して暮らせるまち」の実現のために、認知症の人や家族の方々を支援する人材や仕組みをつくることが不可欠である。認知症サポーターの上級講座の実施については、先行自治体の事例を参考に検討する。

問 小中学校で認知症サポーター養成講座の開催について伺う。

答 保健福祉部長 小中学校において、平成24年度からこれまでに8校で実施し、570人の児童生徒が受講した。受講した子どもたちからは、「今まで、祖母の気持ちを考えずにイライラしてしまい、傷つけてしまったと思う」などの感想が多数寄せられていることから、今後も、より多くの小中学生が認知症について正しく理解できるよう取り組んでいきたい。



オーストリア共和国リンツ市と姉妹締結

リンツ市民と那須塩原市民の民間交流は

金子 哲也 議員

問 今後、リンツ市との交流の進め方と市民間交流を促進するため、市としてはどのような支援が可能か。また国際交流協会の役割について伺う。

答 企画部長 10月に庁内検討会議を設置し、交流の具体的な進め方を関係各課と協議している。国際交流協会の役割については、市民レベル交流を推進する中心の団体として、役割を担っていただくよう期待している。

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブの整備方針、支援員の待遇について伺う。

答 子ども未来部長 今後小学校6年生まで受け入れができるよう整備計画に基づき順次整備していく。給与勤務時間については各クラブの運営者が状況に応じて決めている。

要支援児童放課後応援事業について

問 養育放棄等の状況にある要支援児童に対し、放課後、健全な家庭の養育を経験させ、健全な成長と自立のための要支援児童放課後応援事業（にじのいえ）について、今後も継続していく考えはあるか、またプライバシーを守りながら、この事業をオープンにし、市民も地域住民も理解し一緒に手を差しのべるべきと考えるが。

答 子ども未来部長 近年、虐待や貧困世帯の増加など、子どもを取り巻く環境の変化により、支援の必要な児童は増える傾向にある。子どもの人権を守る観点から、本事業の継続について前向きに検討していく。事業内容をオープンにするということは配慮が必要。子、親を守ることが一番の目的であり、大切なことであると考える。

産業文化祭について

問 産業文化祭における畜産フェアで、目玉事業である牛肉の販売を今年限りで終了になるという噂が広がっているが、真偽について伺う。

答 市長 現在、来年度の開催に向けて検証・検討を行っている。本市にとって大切な地域資源なので、畜産のさらなる振興を図り、市民に楽しんでもらうイベントとして実行委員会と協議をし、内容の充実を図って参りたい。



子どもたちの脳の損傷を防ぐ

MTBI(軽度外傷性脳損傷)を知ろう

平山 啓子 議員

問 MTBI*に関して、市民、学校関係者への周知や子育て中の保護者の皆様への注意喚起について伺う。

答 保健福祉部長 市民全体に対する啓発は、現在のところ行っていません。乳幼児の揺さぶりは妊娠中の方を対象に乳幼児揺さぶられ症候群の予防に関するDVDによる学習を実施している。

問 MTBIの原因や自覚症状、初期対応などが分かるパンフレットを作成し、市民に周知していくことが重要と考えますが、ご見解を伺う。

答 保健福祉部長 現在、国の指針等が出ていないことから、市として行うことはできないと考えている。

問 子どもたちの脳の損傷を防ぐため、教員の指導力の向上と児童生徒への理解はどのように図っていくか。

答 教育長 特に中学校では、保健体育の部分において安全指導という領域の中で機会を捉えて十分周知を図る。

市民が快適に利用できる図書館を目指して

問 書籍の衛生面について伺う。併せて、図書消毒機の設定についても伺う。

答 教育部長 市の図書館では返却時に雑誌を除く全ての書籍について、除菌洗浄液を含んだ布で拭き取り、衛生面の対応を行っている。当面は今の形で続けたい。

がん検診受診率向上について

問 若い世代へのがん検診を推進するため、成人式会場で、無料でピロリ菌保有の有無を検査する呼吸気試験導入をしてはどうか伺う。

答 市長 式典進行中での実施は時間的にも難しく、現時点で行う考えはない。

*MTBI (Mild Traumatic Brain Injury) とは、交通事故や高所からの転落、スポーツ外傷、乳幼児の揺さぶりなどにより、頭部に衝撃を受け、脳の神経線維が傷つき発症するもの。



高齢になっても住みやすいまちづくり

高齢者の移動手段確保を

鈴木 伸彦 議員

問 高齢者による車の事故が目立つようになった。生活の足として車は重要で免許返納は難しいのが現状であるが、外出支援の今後の取り組みについて伺う。

答 生活環境部長 公共交通網のネットワークを構築していく中での課題である。組み合わせが一番重要であり、地域独自のいわゆる乗り合いタクシーなど福祉部と連携して対応していきたい。

学校教育の充実について

問 トイレの洋式化とエアコン設置は、教育環境の平等の観点からやるのであれば本来一斉に実施すべきであると考えますが、現在の予定について伺う。

答 教育長 トイレの洋式化は、現時点において56.1%であり、平成33年度を目標年次に定めている。エアコンの設置については、原則全ての普通教室に設置する方向で検討している。平成29年度には小学校8校、平成30年度に残りの小学校12校、平成31年度以降に中学校全10校に設置する予定である。

太夫塚地区の用途地域への変更について

問 国道400号周辺の太夫塚地区は商業施設ができ宅地化が進んでいるのが現状である。見直しは地域活性化と、さらに市税増収も期待できる。都市計画法に基づく用途地域への変更する考えはあるか伺う。

答 建設部長 現状は宅地化が進んでおり、都市計画マスタープランにおいて市街化を検討すべきエリアとなっている。将来的には検討する必要があると考えられるが、現在は農業振興地域ということで農政サイドとの調整を十分に行う必要があると考えている。

将来に向けて健全な財政運営が望まれる

問 経常収支比率が今年度94.7%となり、県下でワースト2位である。一般的には70%から80%が望ましいとされているが、過去9年以上連続して90%を超えた現状に対し、今後どのように取り組むのか伺う。

答 市長 90%というのが一つの目安と考えている。ただし、扶助費の増加を抑制することは困難であるほか、政策的な経費であっても経常収支比率の対象となるものもある。既存事業の見直しなど、行財政改革の取り組みを着実かつできるだけ早期に実現をしていくことで、経常収支比率の改善を図っていく。



続発する自然災害や詐欺被害にしっかり備えて

日々の暮らしが安全・安心の市政を

高久 好一 議員

特殊詐欺対策について

問 特殊詐欺による高齢者の被害が相次いでいるが、本市の被害状況と推移はどのようになっているか。自治体が被害を防止するため、撃退機器の無償貸与や購入費補助を行っているところもあるが、本市でも助成を行う考えはあるか。

答 生活環境部長 本市の近年のオレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺による被害件数と金額は、平成25年が11件で1億465万円、26年は13件で3,195万円、27年は8件で3,225万円となっている。撃退機器の無償貸与事業は栃木県警が実施しており、借り受け者の被害はゼロ件で、85%の方が効果を実感している。本市においても今後、導入に向けて検討していく。



防災対策について

問 続発する自然災害、鬼怒川のはん濫による被害を受け「タイムライン」(防災行動計画)を策定する市町が県内でも増えている。本市の防災対策では、タイムラインをどのように捉えているか。

答 市長 「タイムライン」は、防災関係機関が連携して、発生する状況をあらかじめ想定し、いつ、誰が、何をするか時系列的に整理した計画で、先進のアメリカの事例を基に、日本版タイムラインの策定が国を中心に進められている。本市では、地域防災計画等を定めているが、タイムラインを策定することにより、栃木県等の関係機関との連携強化が図られることも見込み、策定について検討していく。



これからの那須塩原市のために

地域環境や教育環境の充実を！

齊藤 誠之 議員

問 今後のタブレット型端末の導入に関しては、各学校のパソコンの更新時に導入すると聞いたが、来年度に更新が予定されている学校について伺う。

答 教育長 来年度、更新予定の学校については、小学校では、黒磯小、大山小、関谷小、横林小、塩原小の5校であり、中学校では、黒磯中、黒磯北中、厚崎中、東那須野中、高林中、三島中、西那須野中、塩原中の8校である。

問 教育委員会や学校での取組みに関して、保護者等への周知について伺う。

答 教育長 市教育委員会では、「小中一貫教育」、あるいは「英語が使える那須塩原っ子プログラム」などの各種リーフレットを作成し、学校を通して全保護者に配布をしている。また、市のホームページでは、教育委員会のコーナーで情報提供に努めるとともに、英語教育推進室においてはフェイスブックを活用している。さらに、今年6月からは、市内全校でホームページを開設し、各学校の特色ある活動の情報発信を行っている。

ごみ屋敷の対策について

問 独居や周囲との関係が希薄になることでごみ屋敷に至るケースが多いと聞く。今後高齢化が進む中でこういう問題は多くなることが予想されるが、本市の考えを伺う。

答 保健福祉部長 本市には8カ所、地域包括支援センターがある。また、行政区ごとには民生委員があり、特に独居老人や高齢者のみの世帯に関しては、訪問等をして生活の状況を聞いたり、観察をしている状況にある。

答 生活環境部長 事例があったときには、私どもごみ担当部局、あるいは福祉担当部局が連携して現場に行き、状況を調べ、本人に話が聞ければ聞くという形で、どのような支援策、対応策があるかを検討していく。



施設の有効活用について検討を

一般廃棄物処理施設について

若松 東征 議員

問 那須塩原クリーンセンターへ持ち込まれるごみの量は、種類ごとにどのくらいか伺う。

答 生活環境部長 平成27年度におけるごみの量は、可燃ごみ3万6,493t、不燃ごみ752t、粗大ごみ1,018t、資源ごみ5,388tとなっている。

問 ごみから生まれるエネルギーの有効利用について伺う。

答 生活環境部長 ごみを焼却した際に発生する熱エネルギーを有効利用した、サーマルリサイクルにより最大1,990kwhの発電を行い、施設の電力として使用し、余剰電力については売電している。

問 旧黒磯、塩原処理施設の解体と跡地利用について伺う。

答 生活環境部長 旧黒磯清掃センターの解体に要する費用は5億円程度、旧塩原クリーンセンターは2億円程度を見込んでいます。清掃施設の解体に多額の費用を要することから、解体費用についても補助対象となる跡地利用を検討したい。

出会いから結婚までのサポートについて

問 市の結婚サポートの窓口はどこか、また、結婚相談の現状と課題について伺う。

答 市長 とちぎ未来クラブ*地域結婚サポーターと結婚相談に関する情報交換会を適宜行っている。結婚を希望する方の相談には、婚活イベントの情報提供や規模に応じて地域結婚サポーター等を通じたマッチングなどを行っているが、登録者が少なくマッチングは難しい状況である。

問 市では結婚サポートをどのようにしていくのか伺う。

答 市長 総合的、計画的に結婚支援策を推進していくために、結婚サポート総合戦略を現在策定しているところです。今後は結婚サポートセンターの開設に合わせ、戦略に基づき出会いから結婚までの支援策を効果的、効率的に実施してまいります。

*とちぎ未来クラブとは、県民総ぐるみで結婚・子育てを支援し、家族を築き安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進する組織です。



観光行政について

市長の観光に対するビジョンは

櫻田 貴久 議員

問 観光に対する市長のビジョンを明確に伺う。

答 市長 那須塩原市の特性を生かした観光戦略に基づき、温泉や食、花などの観光資源の磨き上げ、そしてまた受け入れ体制の充実により、観光地としての質の向上をまず図ること。また、観光振興による交流人口の増加や地域ブランド力の向上も図ること。地域と経済の活性化につなげていくことが、那須塩原市の観光の目指すべき姿であろうと考えている。

シティプロモーションの取り組みについて

問 本市のシティプロモーションの目的と取り組みについて伺う。

答 企画部長 市民とともに本市の魅力やブランドメッセージを内外に効果的に訴求、推奨することにより、本市の知名度を高め、内外の多くの共感を獲得することにより、地域イメージの向上、交流人口の増加、定住人口の増加、さらにはまちの持続的な発展へとつなげていくことを目的としている。

巻狩まつりについて

問 今後巻狩まつりをどのように運営していくのか、本市の考えを伺う。

答 産業観光部長 今後も長く祭りを継続していくためには、市民や関係団体、企業との連携が重要である。こうした民間の力を運営に生かしていくことが祭りにさらなるにぎわいや活力を創出し、祭りの歴史を積み重ねることになると考えている。

スポーツ施設整備計画について

問 今までのスポーツ施設整備計画を踏まえた上での今後の取り組みについて伺う。

答 教育部長 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ地、国民体育大会会場としての施設整備及び老朽化への対応を優先して取り組んでまいりたいというふうに考えている。

山梨県大月市議会来訪 2016.11.17(木)

本市議会の議会基本条例（議会報告会、議員問討議、議会基本条例の見直し）について説明した。



那須地区議員交流会 2017.1.16(月)

ゆいま〜る那須に携わっている近山恵子氏と三菱総研の松田智生氏を講師に迎え、CCRC施設、日本版CCRC構想について学んだ。

※CCRCとは・・・コンティニューイング・ケア・リタイアメント・コミュニティ(Continuing Care Retirement Community) 従来の高齢者施設と異なり、高齢者がアクティブな生活を送るための共同体のことです。



「とちぎの南都・北都」移住・定住促進宣言セレモニー 2017.1.20(金)

“移住・定住促進” 広域連携プロモーション事業を小山市と共同で行っていく。



総合計画審査特別委員会

2016年6月から2017年1月まで計7回にわたり総合計画審査特別委員会を開催し、第2次那須塩原市総合計画基本構想（案）に関する事項については8月に、前期基本計画（素案）に関する事項については12月に、それぞれ議会の意見をまとめ、提言書を市長へ提出した。



前期基本計画（素案）に関する提言書を市長に提出

第7回議会運営委員会研修会 2016.11.18(金)

「今、地方議会に求められることは何か」北川 正恭氏（早稲田大学マニフェスト研究所顧問）

最終研修は連続研修のまとめという位置づけで、市長以下執行部の職員も交えて講義を受けた。議会報告会の実施方法や先進的な議会の紹介、そして「議会は学芸会」というような過激な言葉も飛び出して爆笑やら苦笑やら、大変興味ある2時間だった。7回連続の研修はテーマ設定が難しい部分はあったが、振り返る、あらためて考えるという意味で大変よい内容だったと思う。



第7回議場コンサート

12月議会（定例会）では、コンサートを開催しました。国際医療福祉大学ハンドベル部のみなさんによるクリスマスソングが披露されました。

議場には22名の方が鑑賞に訪れました。ハンドベルの優しい音色に会場全体が包まれました。



議会運営委員会行政視察 2016.12.20(火)

今年度の行政視察は、7回の議会運営委員会主催の研修を引き受けてくださった早稲田大学マニフェスト研究所へ出向いてのものだった。講師は中村健先生と西川裕也先生で、議員が議場などでタブレット端末を使うことについての事例や課題、また那須塩原市議会での質問時間などについてどのように考えるべきかの講義と意見交換が行われた。



総務企画常任委員会 所管事務調査

2016.11.1(火)、2(水)

京都府京都市において、「京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー」と「京都市公共施設マネジメント基本計画」の行政視察を行った。

京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーは、主に水と土に関する災害の防止・軽減を目的とした実験と研究をしており、一時間200ミリの降雨装置、浸水体験実験装置として浸水したドアも模型の体験をした。水害対策で重要なのは学校での防災教育、防災インフラの整備、地域防災ハザードマップの普及であるとの説明を受けた。

次に、京都市役所での京都市公共施設マネジメント基本計画は、国の「インフラ長寿命化計画」に基づく「公共施設等総合管理計画」に位置付けられ、施設の老朽化や更新時期の集中、人口減少・少子高齢化による社会ニーズの変化など、公共施設を取り巻く環境は大きく変化しており、本市でも同様の計画策定が進められていることから参考になった。



京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーにて

建設経済常任委員会 所管事務調査

2017.1.25(水)、26(木)

視察テーマ

- 八戸市
 - ・公共交通に関する取り組み
 - ・八戸市におけるデスティネーションキャンペーン※に関する取り組み
- 青森市
 - ・青森市におけるデスティネーションキャンペーンに関する取り組み
 - ・青森市新規就農者定着化支援事業、他



八戸駅にて八戸公共交通アテンダント“はちこ”の取り組みを視察

八戸市における先進的な公共交通への取り組みの現場や、これから栃木県において予定されているデスティネーションキャンペーンに関する、実施期間終了直後の自治体からの話は大変参考になり、有意義な視察となった。

※JRグループ6社と地域が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーン。

各常任委員会における勉強会

3月議会において議案として上程が見込まれる各種計画案件等に関して、12月議会の会期中及び閉会后に、所管する各常任委員会において、計画に関する理解を深めるため、総計24本(2月1日現在)の計画等について勉強会を開催した。

総務企画常任委員会 (計画等7本)
結婚サポート総合戦略、那須塩原市行財政改革推進計画、他

福祉教育常任委員会 (計画等8本)
第3期那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画、那須塩原市教育振興基本計画、他

建設経済常任委員会 (計画等9本)
那須塩原市立地適正化計画、ミルクタウン戦略、他

議会だより編集委員会先進地視察

2016.11.8(火)

第8回マニフェスト大賞で優秀賞を受賞したあきるの市議会議会だより「ギカイの時間」について視察しました。

広報誌の刷新の経緯、特集記事についてお伺いしました。



東京都あきる野市議会



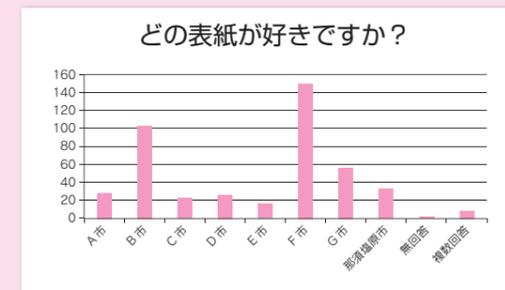
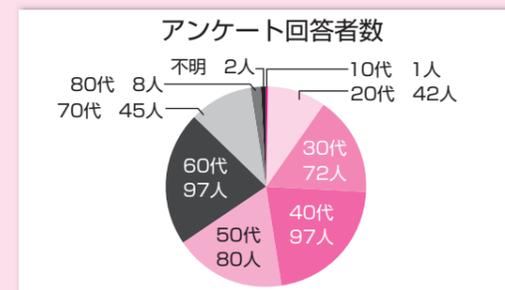
東京都羽村市議会



羽村市議会議会だより「ぎかいのトビラ」について視察しました。インタビュー記事は各常任委員会が担当し、各所管に関連する団体にインタビューを行っているところが特徴。

視察を終え、来年度に向けて表紙について

12月13、14日に 本庁、西那須野支所、塩原支所、ハロープラザにて 議会だより市民アンケートを行いました!



子どもの写真を使用した表紙、イラストを使用した表紙に人気集中しました。いただいたご意見を元に表紙・特集をリニューアル予定です!ご期待ください。

新年号アンケートでいただいた意見より

- 非常に分かりやすく読みやすい体裁、内容になった。いつもの議会だよりは少し専門的過ぎて読むのが大変です。多くの市民に読んでもらうためには、今回のように読者の立場に立った編集が必要でしょう。
- 最近の「議会だより」は、とても分かりやすく興味をもちながら読むことができます。特にカラー版の表紙等良い!!
- 若者(18~40歳)への支援についても議会だよりで取り上げて。あと福祉の充実について
- Q&Aの充実
- 那須塩原市の情報を全市民にわかりやすく、引き続き説明いただきたい。

アンケートへのご協力ありがとうございました!

10月	11日	会派代表者会議
	17日	議会だより編集委員会 議員全員協議会 議会報告委員会
11月	24日	議会活性化検討特別委員会
	28日	議会運営委員会研修会
12月	1～2日	総務企画常任委員会所管事務調査 (京都市ほか)
	4日	庁舎建設検討特別委員会 会派代表者会議
	10日	議会運営委員会 議員全員協議会 議会報告委員会 総合計画審査特別委員会
	14日	議会報告会(ハロープラザ、大山、黒磯公民館)
	15日	議会報告会(とようら、東那須野、西公民館)
	17日	山梨県大月市議会来訪
	18日	議会運営委員会 議会運営委員会研修会
	25日～12月16日	平成28年第5回那須塩原市議会定例会
	25日	議会だより編集委員会 会派代表者会議 議会活性化検討特別委員会
	29日	第7回議場コンサート
12月	6日	会派代表者会議 放射能対策検討特別委員会
	13～14日	議会だより編集委員会市民アンケート調査
	14日	会派代表者会議
	15日	議会だより編集委員会 議会運営委員会 議員全員協議会 総合計画審査特別委員会
	16日 20日	議会報告委員会 議会運営委員会所管事務調査 (早稲田大学マニフェスト研究所)

第8回議場コンサート 開催決定!!

3月議会(定例会)では、コンサートを開催します。お気軽にお越しください。

♪ 日 時 平成29年2月27日(月)
午前9時15分～45分予定

♪ 演奏者 三島中学校 合唱部

♪ 演奏曲目 早春賦、瑠璃色の地球他

♪ 観覧方法 無料、予約不要です。

当日本庁舎4階議場へ直接お越しください。



【編集後記】

2017年1月、京都で開催された都道府県対抗女子駅伝は、降りしきる雪の中での大激戦となり、厳しい状況の中でも最高の結果を出すべく、ひとりひとりが懸命に走りぬいている姿を見ていて、とても感動しました。

人には本来、持って生まれたそれぞれの役割があるのではないのでしょうか。なぜそこに居合わせたのか、自分には何ができるのか、ここで何をすべきなのか、誰もがきっと思い悩む時があると思います。

議会だより編集委員会に4年間在籍し、後半は副委員長を務めた立場で振り返りますと、新人議員として右も左もわからなかった最初の2年間、先輩委員の中で模索していた1期生は、後半の2年ではしっかりと目指すべき方向性を定めて、力を発揮しました。そして先輩委員は、ときおり厳しくも適切なアドバイスをしつつ若い委員長を盛り立ててくれました。それぞれが分担して受け持った責任を全うし、まさにひとつのチームとして良い仕事のできたのではないかと考えています。

これまで積み上げてきた「議会だより」の改革の取り組みを、次にスムーズにバトンタッチできるよう、現メンバーでしっかりと引き継ぎ事項をまとめたいと思います。

(藤村)

より開かれた議会を推進するために、次回定例会から
傍聴人受付簿の記入を不要としました。

議会を傍聴してみませんか

次の3月議会(定例会)は、
2月24日(金)開会予定です。

議会は会期日程に基づき本庁舎4階で行われています。
是非傍聴にお越しください。

詳しい内容は随時ホームページでお知らせいたします。

那須塩原市議会 検索 クリック!

議会だより編集委員会

委員長	齊藤 誠之		
副委員長	藤村由美子		
委員	星 宏子	相馬 剛	
	若松 東征	山本 はるひ	

いつでもどこでも議会だよりがスマホで読める

行政情報アプリ「まちいロ」が「マチイロ」としてリニューアル!

ダウンロードはこちらから

App Store からダウンロード

Google Play からダウンロード

「まちいロ」をご利用中の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要はありません。

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。

※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

マチイロに関する問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで